

令和6年度から使用する小学校用及び義務教育学校前期課程用
教科用図書選定理由書

種 目	選 定 発行者	選 定 理 由
国 語	光村	教材文の後の見開きで示された「見通しをもとう」には、子どもが課題に取り組むための手だてや着目する表現を掲載しており、教材文の叙述に着目しながら、自らの考えを主体的に形成することが可能な構成となっている。また、単元末の「ふりかえろう」では、子どもが「知る」「話す・聞く」「つなぐ」の3観点で学びを振り返ることが可能な内容となっている。さらに、第2学年以降、学年の初めに「楽しく書こう」が位置付けられ、対話を通して表現の工夫や自分の文章のよさに気付いたり、書くことへの意欲を高めたりすることが可能な構成となっている。
書 写	光村	1教材1目標を基本の構成とし、毛筆の学習では「たいせつ」で示された学習のポイントを踏まえて書き、硬筆で学びを確かめたり生かしたりすることが可能な内容となっている。また、6年間で学習する書写の要素を「書写ブック」としてまとめており、学んだことを生かすことが可能な内容となっている。札幌市内の小学校の教室や雪まつりを題材とした発表用資料例の掲載があり、身近な事柄や地域に目を向け、文字を書くことへの意欲を高めることが可能な内容となっている。
社 会	教出	毎時間見開きごとに「この時間の問い」と「次につなげよう」が掲載されており、子どもが学習内容や次の時間への見通しをもつことができ、主体的に課題の解決を目指す学習活動が可能な構成となっている。また、札幌市やアイヌ民族、北方領土を取扱った内容が多く掲載されているとともに、戦時や戦後の写真がAI技術によりカラーで掲載されるなど、子どもが資料等から社会的事象を身近に捉えながら考察する学習活動が可能な内容となっている。
地 図	帝国	北海道地方を見開き6ページにわたって掲載するなど、北海道に関わる内容を取扱う資料を豊富に掲載するとともに、「江戸時代の結びつき」や「江戸時代後期」などの歴史の学習においても活用できる資料を取り扱うなど、様々な学習場面において位置や空間的な広がり、時間の経過や相互関係などに着目して資料を活用することが可能な内容となっている。また、「地図マスターへの道」が掲載されているなど、子どもの興味・関心を高めることが可能な内容となっている。

種 目	選 定 発 行 者	選 定 理 由
算 数	教出	身近な生活における問題場面から、数学的活動を通して、自ら疑問や課題をもてるように工夫されているとともに、どの単元においても「はてな」「なるほど」「だったら」と、次の学習内容とのつながりを意識して、論理的に思考することが可能な構成となっている。また、データの活用領域においては、統計的探究プロセスに基づき、目的に応じてデータを関連付けたり多面的に考察したりしながら、結論を導くことが可能な内容及び構成となっている。
理 科	東書	各単元の冒頭に「レッツトライ」という活動が位置付けられており、身近な自然事象への働きかけを通して、子どもが自ら疑問や課題を発見し、他者と関わりながら主体的に解決を目指す学習活動が可能な構成となっている。また、観察、実験を通して得られた情報を、プロット図や写真等で結果を比較しながら整理したり考察したりできるように工夫されており、より妥当な考えをつくり出す学習活動が可能な構成になっている。
生 活	教出	各単元の導入時に「わくわくスイッチ」が掲載されており、子どもの興味・関心や幼児期からこれまでの経験に基づき活用することで、自分に合った課題をもつことが可能な内容となっている。また、各ページの下部には「はっけんロード」が設定されており、単元の途中で気付きの自覚や新たな活動方法の発見を促すとともに、単元末の「ぐんぐんはしご」を活用して自分の学びを振り返ることにより、気付きの質や自己肯定感を高めることが可能な構成となっている。
音 楽	教芸	「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の3種類のアイコンが配置されており、子どもが課題をもつとともに、思いや意図をもちながら音楽表現を高めたり、味わって鑑賞したりすることが可能な内容となっている。また、ペアやグループでの活動が充実しており、協働して音楽活動を行うことが可能な内容となっている。さらに、札幌コンサートホールや札幌交響楽団などの写真が掲載され、札幌の文化的環境を生かした学習が可能な内容となっている。
図画工作	日文	発達の段階に応じて、言葉から発想して絵に表す題材が全学年に設定されており、自己対話や試行錯誤を繰り返し、自分なりの表現を主体的に探究する学習活動が可能な内容及び構成となっている。また、日本の伝統や文化のよさ、美しさを十分に味わうことが可能な内容及び構成となっている。さらに、ハロー！ミュージアムや札幌駅前のオブジェ、アイヌ文様などの写真が掲載され、札幌の文化的環境を生かした学習が可能な内容となっている。

種 目	選 定 発行者	選 定 理 由
家 庭	開隆堂	<p>「1 (気付く・みつける)」「2 (わかる・できる)」「3 (生かす・深める)」の3ステップで構成されており、特に導入時には「なぜ〇〇なのだろう」と問いかける発問が掲載されていることで、自分の生活を振り返りながら課題をもち、見通しをもって学習を進めることが可能となっている。また、ゼロカーボン都市を目指す札幌市の取組と関連付く内容や、北海道や札幌が産地となっている食材を使った調理例が多く記載されるなど、身近な生活の中から課題を見付け、よりよい生活の仕方を工夫する学習活動が可能な内容となっている。</p>
体 育	大修館	<p>毎時間の導入では、身近な生活の中やこれまでの経験から、健康や安全に関する課題を発見する活動が設定されていることにより、自己の課題を見付けて、主体的・協働的に解決を目指す学習活動が可能な構成となっている。また、本文中に学習内容と関連付けた「体育の窓」の欄が随所に設けられていることにより、子どもが運動を行うことの意味理解を深め、具体的な運動の方法を考えられるようになっており、自ら運動に親しもうとする意欲を引き出すことが可能な構成となっている。</p>
外国語	東書	<p>単元とびらのページに、活動目標と何のために活動をするのかを考える視点が明記されており、学ぶことの意義を考えながら主体的に学びを進めることが可能な構成となっている。また、「話すこと(やり取り)」領域の活動を豊富に取り扱っており、身近な事柄についてお互いの考えや気持ちを伝え合うとともに、別冊の「My Picture Dictionary」を活用し、英語表現を確認しながら意欲的に言語活動に取り組むことが可能な構成となっている。</p>
特別の教科 道徳	光文	<p>全学年において、「いじめ」「命の尊さ」を重点主題として設定している。また、このように同じテーマで複数の教材を扱うことにより、多面的・多角的に主題について考えることも可能な構成となっている。さらに、全学年で「へこんでも立ち直る」という主題やコラムが設けられており、自分の「心の力」についても考えることが可能な内容となっている。その他、各教材の最初のページには、学習のねらいにつながる言葉とキャラクターによる問いかけが示されており、何を主題として学ぶのか見通しをもつことが可能な内容となっている。</p>